



2025年12月24日

各 位

会 社 名 株式会社フツパー

代表者名 代表取締役社長 大西 洋

(コード番号：478A 東証グロース市場)

問合せ先 取締役管理本部長 高木 真一郎

(TEL. 06-7777-2552)

東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2025年12月24日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2025年12月期（2025年1月1日から2025年12月31日）における当社の業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円、%)

	2025年12月期 (予想)			2025年12月期 第3四半期累計期間 (実績)		2024年12月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上高 比率		対売上高 比率
売 上 高	1,269	100.0	110.6	750	124.5	602	100.0
営 業 利 益	358	28.3	—	203	27.2	△69	△11.5
経 常 利 益	346	27.3	—	212	28.3	△65	△10.8
当期（四半期）純 利 益	263	20.7	—	170	22.7	△23	△3.8
1 株 当 たり 当期（四半期）純 利 益 又 は 当 期 純 損 失	30.0			19.63		△2.77	
1 株 当 たり 配 当 金	—			—		—	

(注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。

2. 2024 年12月期（実績）及び2025年12月期第3四半期累計期間（実績）の1株当たり当期

（四半期）純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。

3. 2025年12月期（予想）の1株当たり当期純利益は公募による募集株式数（1,250,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。
4. 2025年8月13日開催の取締役会において、A種優先株式及びA2種優先株式のすべてにつき、定款に定める取得条項に基づき取得することを決議し、2025年8月28日付で自己株式として取得し、対価としてA種優先株主及びA2種優先株主にA種優先株式及びA2種優先株式1株につき普通株式1株をそれぞれ交付しております。また、2025年9月30日付ですべてのA種優先株式及びA2種優先株式は、会社法第178条の規定に基づき、消却しております。
5. 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき、500株の株式分割を行っております。上記では、2024年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

【2025 年 12 月期業績予想の前提条件】

1. 当社全体の見通し

当社は「最新テクノロジーを確かな労働力に」をミッションとし、製造業界を中心に、AI技術及びIoT技術等の新しい技術を活用したサービスを提供しております。当社が事業の中核として提供している画像認識AIサービスの主要プロダクトである外観検査自動化AIサービス「メキキバイト」は顧客の製造ライン、検査対象に適した照明・カメラ等の選定から設置までの光学設計をはじめ、検査対象の不良検出のための最適なAIモデル構築並びに不良品の排除機構連携を一気通貫で提供しております。また、当社が提供する分析AIサービスである「カスタムHutzperAI」は、製造業についての豊富な知見と分析案件の実績をもとに、適切な分析設計からAIモデル構築まで、企業の潜在的なニーズに根ざしたサービスを提供しております。その他AIサービスとしては、AIによる人材配置最適化システム「スキルパズル」及び、インターネット接続不要の生成AIソリューション「ラクラグ」を提供しております。

当社がサービスを提供するAIを活用したDX領域において、当社が提供する目視検査の自動化やビッグデータの分析といったAIを用いたDX、IoT領域は今後労働人口の減少への対応として、需要が増大していくものと想定されます。当社は、このような課題に対応するため、実際の製造現場における知見及び実装力という当社の強みを活かして、製造業への当社プロダクト・サービスの導入をすすめ、継続的に事業を拡大してまいりました。現時点では新たな顧客獲得のための営業活動の強化に加え、「メキキバイト」の複数ライン展開、「カスタムHutzperAI」の同一顧客からの複数回受注による顧客単価の最大化に取り組んでおります。また、「スキルパズル」や「ラクラグ」の拡販につとめ、継続的かつ安定した収益の獲得を目指すとともに、さらには同一顧客への複数プロダクトの導入による相乗効果の発揮も進めてまいります。

このような状況の下、2025年12月期第3四半期までの実績として、売上高750百万円、営業利益203百万円、経常利益212百万円、四半期純利益170百万円となっております。

また、2025年12月期の業績予想は、売上高1,269百万円（前期比110.6%増）、営業利益358百万円（前期は69百万円の営業損失）、経常利益346百万円（前期は65百万円の経常損失）、当期純利益263百万円（前期は23百万円の当期純損失）となっております。

2. 業績予想の前提条件

2025年12月期の業績予想は2025年8月までの実績に、2025年9月以降の見込数値を積み上げて作成したものであります。なお、当社は製造業向けAIサービスの単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

当社の各サービス別の収益及び費用の発生状況は以下の通りです。

① 画像認識AIサービス

メインサービスである「メキキバイト」は、製造業の顧客に対して、製造ライン、検査対象に適した照明・カメラ等の選定から設置までの光学設計をはじめ、検査対象の不良検出のための最適なAIモデル構築並びに不良品の排除機構連携、導入後の運用管理までを一気通貫で提供しております。また、AI判定は現場にある産業用PCに搭載したエッジAI（注）として提供し、安定稼働の実現かつ高速処理を可能とすることに加えて、当該システムの運用

フェーズにおいてはクラウドシステム「Hutzper Insight（フツパーインサイト）」を管理アプリケーションとして提供することにより、顧客自身によるAIモデルの精度の向上、品質管理を可能としており、継続的な運用を支援しております。

ハードウェアのスポット販売に加えて、初年度はAI構築（200,000円/月）及び「Hutzper Insight」のライセンス（98,000円/月）をサブスクリプションで月額利用料にて提供しており、2年目以降は「Hutzper Insight」のライセンスを提供しております。一部、クラウド管理機能である「Hutzper Insight」を伴わないソフトウェアのスポット販売での提供もごさいます。

また、当社は、「メキキバイト」で培った画像認識AIの技術を活用し、製造現場に設営されたカメラを活用した作業員の行動分析、機械への巻き込み防止等の安全対策等の外観検査以外のサービスの提供を行っております。

サービス提供に係る原価として、画像認識AIサービスでは現場に設置するハードウェアやエッジデバイスに関する材料費や、エンジニアの人件費等が発生いたします。

（注）エッジAI：ネットワークの端末機器（エッジデバイス）に直接搭載したAIのこと。

② 分析AIサービス

顧客が保有するビッグデータを活用し顧客のAI構築を支援する「カスタムHutzperAI」等の分析AIサービスを提供しております。具体的には、現場データをもとにした在庫予測や故障予測等の分析サービスをスポット販売で提供しております。サービス提供に係る原価として、エンジニアの人件費等が発生いたします。

③ その他AIサービス

（スキルパズル）

当社は、製造工程における各人のスキルに応じたAIによる最適なシフト配置を提供する「スキルパズル」を利用人数に応じた従量課金によるサブスクリプションにて提供しております。

（ラクラグ）

当社は、蓄積された社内ナレッジをインターネット接続不要で活用できるローカル生成AIソリューション「ラクラグ（らくらくRAG）」を販売しております。サービス提供に係る原価として、ローカル環境に設置するサーバー代などの材料費が発生いたします。

（2） 売上高

当社が管理している販売案件の一覧より、契約確度を「確定」（契約締結に至ったもの）、「見込」契約締結に至っていないが、顧客の内諾を得ているもの）、「予算化」（受注確度が高いと判断されるもの）、「案件化」（顧客への提案済みであるが、未だ受注確度が高くないもの）等に分類し、「確定」「見込」「予算化」ステータスの案件のすべてを販売予算に算入することで、売上計画を策定しております。なお、「メキキバイト」、「スキルパズル」はサブスクリプション型のサービスを提供

しておりますが、過去の実績に鑑み、解約率はゼロとして予算を策定しております。

その上で、業績予想につきましては、2025年8月時点の実績数値に2025年9月以降に納品が完了する案件を見込み、月次ベースで画像認識AIサービス、分析AIサービス、その他AIサービスの売上高を積み上げております。

当社は単一セグメントであり、全社KPIとしては、受注残高、取引社数、継続顧客売上高（※）、ライセンス収入を設定しております。2024年12月期並びに2025年12月期第3四半期における各KPIの状況は以下の通りであり、それぞれの項目において順調に推移しております。

		2024年12月期	2025年12月期 (第3四半期)
受注残高	(千円)	391,427	546,999
取引社数	(社)	114	125
継続顧客売上高	(千円)	267,730	552,380
ライセンス収入	(千円)	67,103	62,447

その結果、売上高は画像認識AIサービスが917百万円、分析AIサービスが308百万円、その他AIサービスが43百万円、合計1,269百万円（前期比110.6%増）を見込んでおります。

なお、業績予想に対する第3四半期累計期間の進捗率は、予算比59.1%（750百万円）となっております。なお、第4四半期会計期間において予測の40.9%の売上高を計上する計画となっておりますが、2025年10月から2025年12月の期間において画像認識サービス、分析AIサービスにおいて複数の大型案件が納品済み、または納品予定であり、概ね計画通りに進捗しております。

※算出式：（当該年度の売上高－当該年度の新規顧客からの売上高－当該年度のライセンス収入）

（3） 売上原価

当社における売上原価は、主に材料費、労務費及び外注費であり、原価要素別に分類して計画を策定しております。材料費及び外注費については「（2）売上高」に記載した販売案件一覧より、各販売案件に対して発生する額を個別に見積もり、労務費は人件費の予測より、売上原価へ按分される金額を見積もっております。業績予想につきましては、2025年8月時点の実績数値に2025年9月以降に納品が完了する案件の原価を積み上げております。その結果、売上原価が455百万円、売上総利益が814百万円の計上を見込んでおります。なお、原価率は前期48.9%から当期35.5%へ、13.4ポイントの改善を見込んでおりますが、これは前期において原価率の高い大口案件が発生していたことによります。

なお、業績予想に対する第3四半期累計期間の進捗率は、売上原価が予測比57.1%（259百万円）、売上総利益が予測比60.3%（490百万円）となっております。なお、第4四半期会計期間において予測の39.7%の売上総利益を計上する計画となっておりますが、2025年10月から2025年12月の期間において画像認識サービス、分析AIサービスにおいて複数の大型案件が納品済み、または納品予定であり、概ね計画通りに進捗しております。

（４） 販売費及び一般管理費、営業利益

当社における販売費及び一般管理費の主要項目は、人件費（研究開発費へ按分される人件費を含む）が主要な構成要素となっております。販売費および一般管理費は人員計画と費用計画を基に費目別に算定し計画を策定しております。業績予想につきましては、販売費及び一般管理費が455百万円、営業利益が358百万円（前期は69百万円の営業損失）の計上を見込んでおります。

なお、業績予想に対する第３四半期累計期間の進捗率は、販売費及び一般管理費が予測比63.0%（286百万円）、営業利益が予測比56.8%（203百万円）となっております。

なお、主な費用の前提は、以下のとおりです。

- ・ 人件費

増加していく案件に対応し、また高精度・高難易度のサービス提供に対応するため、研究開発本部におけるエンジニア並びに事業拡大のためのビジネス開発本部における営業人員、管理体制の強化のための管理人材について、それぞれ数名程度の採用増を見込んでおります。

- ・ 研究開発費

人員計画に基づき開発リソースを算出し、新製品の開発及び自社商品の機能追加のための費用を計上しております。

- ・ 支払手数料

経営管理体制強化のための専門家報酬に加え、グループウェア等の人員数に比例する費目のそれぞれにつき、比率・金額を見積もっております。

- ・ その他の経費

過去のトレンドや関連する費目との比率を元に金額を算定しております。

（５） 営業外損益、経常利益

営業外収益は主として補助金等の収入であります。営業外費用は主に上場に伴う株式交付費等の費用の計上を見込んでおります。

業績予想につきましては、営業外収益12百万円、営業外費用24百万円の計上が見込まれ、上記業績予想の営業利益から当該収益及び費用を差し引いた経常利益346百万円（前期は65百万円の経常損失）の計上を見込んでおります。

なお、業績予想に対する第３四半期累計期間の進捗率は、経常利益が予測比61.2%（212 百万円）となっております

（６） 特別損益、当期純利益

2025年12月期の当社における特別利益・損失は、計画及び業績予想共に見込んでおりません。法人税等については、利益の予想値に基づき、税効果会計による影響額（評価性引当金の減少額）を加味して算出しております。

当期純利益の業績予想につきましては、263百万円（前期は23百万円の当期純損失）を見込んでおり、業績予想に対する第３四半期累計期間の進捗率は、予測比64.7%（170百万円）となっております。

以上



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年12月24日

上場会社名 株式会社フツパー 上場取引所 東
コード番号 478A URL <http://hutzper.com/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 大西 洋
問合せ先責任者 （役職名） 取締役兼管理本部長 （氏名） 高木 真一郎 TEL 06 (7777) 2552
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	750	—	203	—	212	—	170	—
2024年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	19.63	—
2024年12月期第3四半期	—	—

- （注） 1. 2024年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社は、2025年10月1日付で、普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	1,014	763	75.3
2024年12月期	477	313	65.8

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 763百万円 2024年12月期 313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,269	110.6	358	—	346	—	263	—	30.34

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2025年10月1日付で、普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	8,790,000株	2024年12月期	8,324,500株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	一株	2024年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	8,679,167株	2024年12月期 3 Q	一株

（注）当社は、2025年10月1日付で、普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(収益認識関係)	5
(1株当たり情報)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要等により景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、物価上昇や地政学リスクの高まりにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社が属する国内AI市場においては、引き続き、大規模言語モデルの技術革新やAIエージェントへの注目の高まりなどの結果、企業の競争力の強化や人材不足への対応から幅広い産業で積極的なDX投資が継続しており、事業環境は堅調に推移しております。

この結果、当第3四半期累計期間においては、売上高750,339千円、営業利益203,876千円、経常利益212,151千円、四半期純利益170,407千円となりました。

また、上記以外の主要KPIは、取引社数125社、継続顧客売上高552,380千円、ライセンス収入62,022千円、受注残高562,718千円となります。

なお、当社は製造業向けAIサービス事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は1,014,163千円となり、前事業年度末に比べ537,130千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加350,317千円、売掛金の増加110,554千円、仕掛品の増加71,113千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は250,716千円となり、前事業年度末に比べ87,423千円増加いたしました。これは主に、未払法人税等の増加46,327千円、契約負債の増加17,898千円、賞与引当金の増加15,346千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は763,447千円となり、前事業年度末に比べ449,707千円増加いたしました。これは、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ139,650千円増加、四半期純利益の計上により、利益剰余金が170,407千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	277,731	628,049
売掛金	103,411	213,966
仕掛品	18,660	89,774
原材料	2,480	2,175
その他	16,130	11,511
流動資産合計	418,415	945,478
固定資産		
有形固定資産	3,279	5,064
無形固定資産	1,572	7,709
投資その他の資産	53,766	55,912
固定資産合計	58,617	68,685
資産合計	477,033	1,014,163
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,192	44,729
1年内返済予定の長期借入金	—	6,160
未払金	7,424	5,823
未払費用	11,886	9,639
未払法人税等	710	47,037
契約負債	4,844	22,743
賞与引当金	—	15,346
その他	25,700	36,784
流動負債合計	94,757	188,264
固定負債		
長期借入金	58,000	51,840
資産除去債務	10,535	10,612
固定負債合計	68,535	62,452
負債合計	163,293	250,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	239,650
資本剰余金	440,436	580,086
利益剰余金	△226,696	△56,289
株主資本合計	313,739	763,447
純資産合計	313,739	763,447
負債純資産合計	477,033	1,014,163

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自2025年1月1日 至2025年9月30日)
売上高	750,339
売上原価	259,757
売上総利益	490,581
販売費及び一般管理費	286,705
営業利益	203,876
営業外収益	
受取利息	794
補助金収入	6,862
受取褒賞金	2,462
その他	1,773
営業外収益合計	11,891
営業外費用	
支払利息	520
上場関連費用	2,000
株式交付費	1,077
その他	18
営業外費用合計	3,616
経常利益	212,151
税引前四半期純利益	212,151
法人税、住民税及び事業税	38,193
法人税等調整額	3,550
法人税等合計	41,744
四半期純利益	170,407

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月7日を払込期日とする第三者割当増資の払込みにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ139,650千円増加しております。この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が239,650千円、資本準備金が409,368千円となっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	2,899千円

(セグメント情報等の注記)

当社は、製造業向けAIサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

当第3四半期累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

当社は、製造業向けAIサービス事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益の内容は以下のとおりです。

(単位：千円)

	画像認識 AIサービス	分析AIサービス	その他 AIサービス	合計
顧客との契約から生じた収益	543,476	183,836	23,027	750,339
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	543,476	183,836	23,027	750,339

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり四半期純利益	19円63銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益(千円)	170,407
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	170,407
普通株式の期中平均株式数(株)	8,679,167
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	2025年1月30日開催の取締役会決議による 第5回新株予約権 新株予約権の数 560個 (普通株式 280,000株) 2025年2月27日開催の取締役会決議による 第6回新株予約権 新株予約権の数 10個 (普通株式 5,000株)

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

2. 2025年8月13日開催の取締役会決議に基づき、2025年10月1日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。